

秋田活性化中学生選手権に出場

10月15日に行われた秋田活性化中学生選手権県北大会（秋田さきがけ新報社主催）に本校チームが出場しました。板倉慶宗さん、村上慶喜さん、山崎晴史さん、佐藤咲優香さん、腰山心音さんの2年生5人チームです。

5人は夏休みに主催者側から指定された企業を取材。本校は成田建設（株）さんを訪問しました。企業の仕事内容を理解し、その企業の強みを生かして、秋田の活性化につなげるアイデアをプレゼンテーションする企画です。

一中チームは、成田建設が手掛ける発泡ポリスチレン、ドームハウスに着目。風の松原の自然を生かし、松原にドームハウスでグランピングビレッジをつくる計画を立案。ビレッジには農業ドームをつかって収穫体験できるようにしたり、キャンプファイアースペースでは伐採した松を燃料として提供したり、能代牛をバーベキューの食材として提供したりするなど、地域素材を活用した活性化を数々提案しました。

閉会式での講評では、本校のプレゼンに対し講評者から「個人的には、全ての発表の中で、もっとも実現してほしい企画」と高い評価を受けました。チームの皆さん、本当によくがんばりました。



海洋プラ問題について

海洋プラスチックが生態系に与える影響がクローズアップされている昨今、このことについての認識を深めるために秋田県立大学の 境 英一 先生に講話していただきました。廃プラスチックは紫外線等の影響で劣化し、徐々に細かく粉砕されていきマイクロプラスチックとなります。それが魚や鳥に取り込まれ死に至るなど大きな課題になっているとのお話を分かりやすく教えてくれました。

【講話後の生徒の感想発表から】

○小笠原泉音さん（1年）

プラのリサイクルをしっかりとやることや、海岸清掃などの活動を行う必要があることが分かりました。

○川井哲生さん（2年）

陸上に捨てられたプラゴミが川を流れて海に影響を及ぼしていることや、マイクロプラスチックについて新たに知りました。

○和田真依さん（3年）

プラは便利だが影響も大。SDGsの観点からも自分たちでできることに取り組んでいきたいです。

